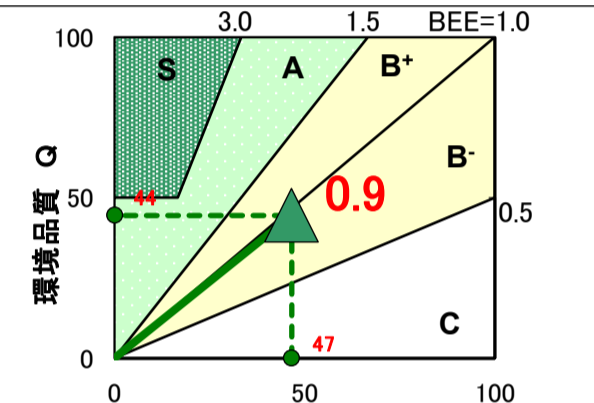
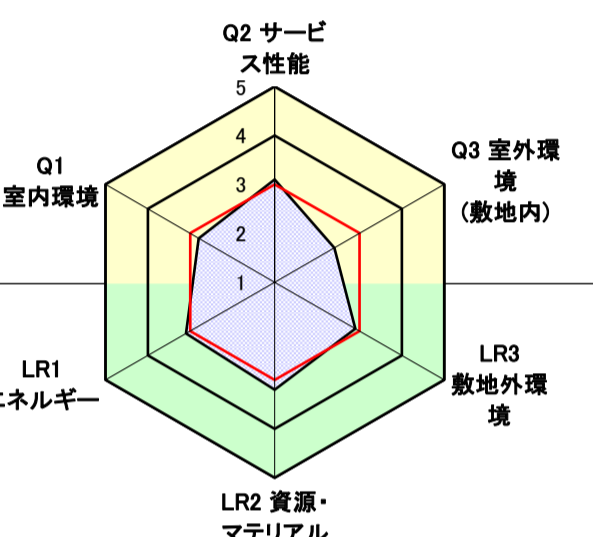


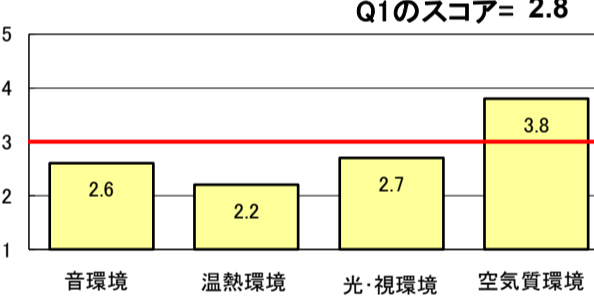
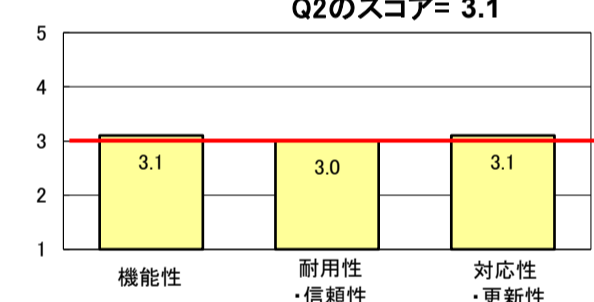
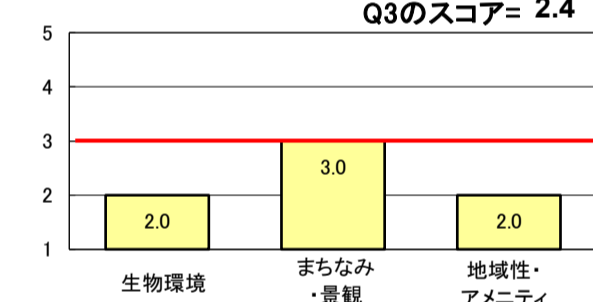
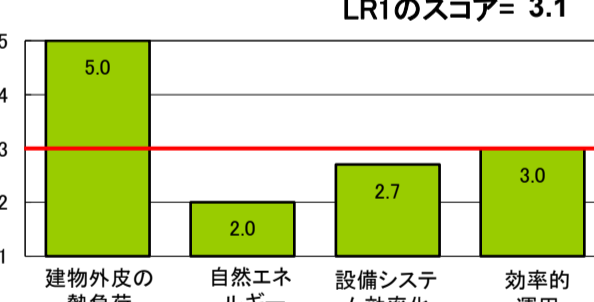
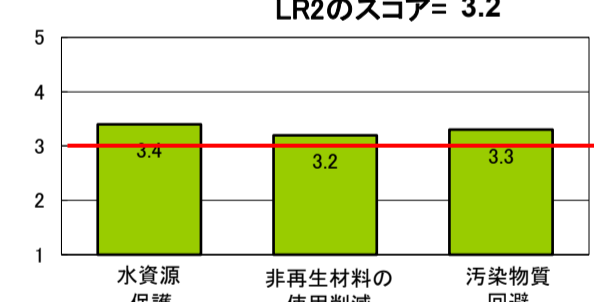
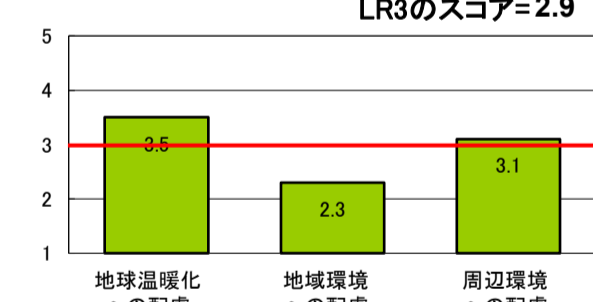
CASBEE® 建築物総合環境計画概要書 新築

大阪 みらい

■使用評価マニュアル: CASBEE大阪みらい(新築) | 使用評価ソフト: 「CASBEE大阪みらい 新築」2024年版 (v.1.0.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	興國高等学校 南館増築工事		
建設地	天王寺区寺田町1丁目		
建物用途	高等学校		
建築主	学校法人 興國学園		
設計者	(有)橋本設計事務所		
竣工年	2027年5月 予定		
構造/階数	S造 / 地上8階 地下1階		
敷地面積	7685.72 m ²		
建築面積	624.30 m ²		
延床面積	4730.79 m ²		

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)								
<p>B- BEE = 0.9</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p> 	<p>★☆☆☆☆ 60%: ★☆☆☆☆ 80%: ★☆☆☆☆ 100%: ★☆☆ 100%超: ☆</p> <p>標準計算</p> <table border="1"> <tr> <td>①参照値</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>②建築物の取組み</td> <td>87%</td> </tr> <tr> <td>③上記+②以外のオンサイト手法</td> <td>87%</td> </tr> <tr> <td>④上記+オフサイト手法</td> <td>87%</td> </tr> </table> <p>このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI+で表示しています。</p>	①参照値	100%	②建築物の取組み	87%	③上記+②以外のオンサイト手法	87%	④上記+オフサイト手法	87%	
①参照値	100%									
②建築物の取組み	87%									
③上記+②以外のオンサイト手法	87%									
④上記+オフサイト手法	87%									

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
Q 環境品質		
Q のスコア = 2.7		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 2.8</p> 	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.1</p> 	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 2.4</p> 
LR 環境負荷低減性		
LR のスコア = 3.1		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 3.1</p> 	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.2</p> 	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 2.9</p> 

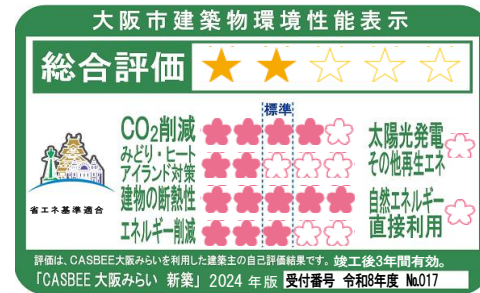
3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>歩道沿いに緑地帯を設けるなど周辺環境に配慮している。</p>	<p>その他</p> <p>0</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>教室の昼光率は3%以上を確保し、自然光で明るく高いレベルの採光環境を確保している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>インテリアパースによる内装計画の事前検証を実施している。</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>敷地内にできる限りの緑地を設けている。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>BEIm=0.66</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>塩ビシートをリサイクル材にする等資源の有効活用に配慮している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>ライフサイクルCO2排出率=87%</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
 ■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 0.9

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.5
配慮事項	ライフサイクルCO2排出率=87%	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	2.0
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	2.0
配慮事項	出来る限りの緑地を設けた	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	5.0
配慮事項	BEIm=0.66	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	2.7
配慮事項	LED照明の採用	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

- ※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
- ※ 住宅部分の一次エネルギー消費量については、BEIが1.0以下であること
- ※ 非住宅部分の一次エネルギー消費量については、「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令(以下、「省令」という)」第1条第1項第1号もしくは、省令第1条第1項第3号に掲げる基準以下であること。

外皮性能	住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BPI][BPI _m]
	- (相当)	0.72
一次エネルギー消費量	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEI _m]
	-	0.66